

usaginigen は、2010年から活動を行っている映像・音楽パフォーマンス・ユニットだ。2014年にはReykjavik Visual Music Punto y Raya Festival（アイスランド）のライブシネマ部門でグランプリを受賞している。

昨年まではベルリンで活動していたが、現在は岡山と香川の間にかぶアートの島、豊島てしまに活動の拠点を移している。

映像担当の平井絵美が、デュシヤンの「独身者たち」を思わせる奇妙な機械（TA-CO）に乗って映像を流す。それに合わせて音楽担当の平井伸一が、ドラムにツリーチャイムやシンセサイザーを組み合わせた奇怪な楽器（SHIBAKI）で音をつける。

私が見たのは《Birth》という作品だった。アイスランドでインスピレーションを得た作品という。

天空から生命の源が落ちてきて、地上に広がり、多様な生がはぐくまれた。そんなストーリーの作品だった（と思う）。

このユニットはユニット名が、usagi（ウサギ）+ningen（人間）であるように、人

間と動物の生を同じレベルのものとみなすことで、生そのものの豊かさを再発見しようとしている。ルイス・キャロルが人間と動物が対話する「寓話」によって、多様な子どもの世界を再発見したようにだ。そこには人間と動物、人間と自然、アナログなものどデジタルなものとの対話・共存・共生というテーマも含まれる。

生というテーマを扱いながら寓話性を取り入れることで、ある種の軽さと理解のしやすさを鑑賞者に提供する。それがusagingenだ。

usagingenは2016年10月19日（水）に愛知県芸術劇場（小ホール）で公演をおこなう予定になっている。関心をもたれた方は寄らりたい。

(2016・8・15)

(リンク)

usagingen (パフォーマンス)

<https://www.youtube.com/watch?v=ddFFD-04nQE>

公式サイト

<http://usagingen.com/ja/>